

3. 「ラベルエキスポヨーロッパ07」のトレンド —原紙素材—

▶ リーディングサプライヤーの出展動向

- 原紙サプライヤーは、ブースが交流の場
- フィルム系基材が伸長傾向
- 基材はより薄肉化、透明フィルムが高付加価値ラベルに採用される傾向に



UPMラフラタックのブース: 床材は使用済みの剥離紙で製作された

サプライヤー名	出展製品/発表内容
エイブリデニソン (米)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Lean Film」—フィルム厚が薄いラベル原紙 ・紙厚が薄くなることでラベルロールが30%長くなる
UPMラフラタック (フィンランド)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Raflex Plus Film」—高品質パーソナルケア向けラベル原紙 ・2008年に南西ポーランドに物流のハブとなる新工場を設立。設備投資額は9000万ユーロ ・2基の高速コーターを導入。10億m²の生産能力
エクソンモービル (米)	<ul style="list-style-type: none"> ・「60XH537」—62 μmフィルム基材。白のBOPPフィルム基材は、飲料や医薬品向けに最適